

《 事前の準備 》

- 時間、場所、参加者の人数やこれまでの受講歴等を考慮して、どのプログラムを活用するか決める。
- プログラムの構成を考える。(ショートプログラムの組合せ等の工夫も効果的である。)
- ワークシートなどの準備物がある場合は、事前に必要数を調べ、やや多めに用意する。
- 掲示用のキーワードを作成したら、保管し、次回からの講座でも活用できるようにすると便利である。

《 参加体験型学習の基本的な流れ 》

1 アイスブレイク



※簡単なゲームで
心と体をほぐします。



2 ねらいの確認



※キーワードを提示し、
ねらいを確認します。



3 中心の活動



※グループ活動のあと、全体
で意見を共有しましょう。
(個人→グループ→全体)

4 まとめ



※進行役の意見を押しつけ
るのでなく、温かい雰囲気
で終わるように心がけ
ましょう。



緊張が
とれたみたい。

ねらいが
わかったぞ。

なるほど!
いいこと聞いたな。

できることを
取り入れてくだ
さい。

☆受講者、進行役、誰もが気を付けることは、全ての人の人生に敬意を払うことです。参加者の誰もが安心して話せるように、講座中に聞いたプライベートな情報を他の場所で話すことは厳に慎むよう参加者に伝えましょう。

